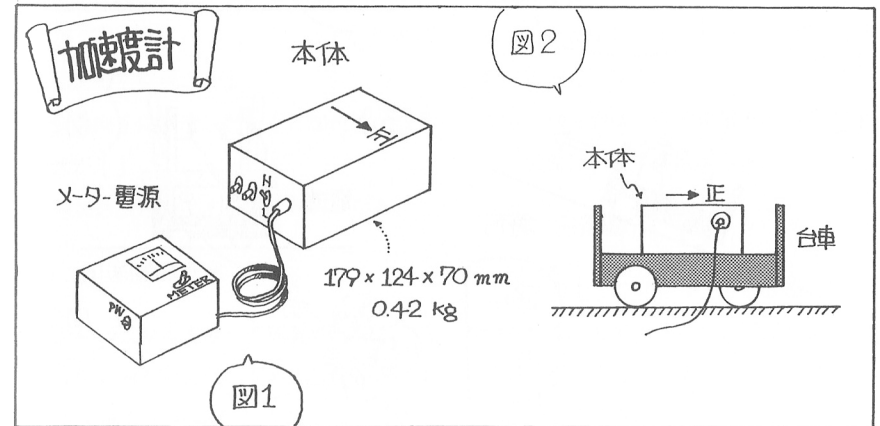


ズバリ加速度計



加速度が直接計測できたら力学教育は飛躍的に発展するだろう。そんな思いを抱いている人は多いのではないのでしょうか。それを実現することができました。

この加速度計の特徴は、今まではかれなかった加速度が直接はかれるようになったことです。テスターやオシロなど大部分の測定器具は、内部機構についてはブラックボックスのまま使っています。ですからこの加速度計もそんな風に使ってしまえばいいのです。このことによって、ずいぶん幅広い使い道があることがわかります。

作り方、回路図などは巻末の資料を参照してください。また私たちのサークル「EHC（エレクトロニクス・ホビー・サークル）」やイ

ンテック研（情報・技術と理科教育研究会）の活動と主張にも目と耳を向けて下さい。

加速度計の実際

開発した加速度計は、加速度計本体のうける慣性力をキャッチして加速度として表示するようにしたものです。だから図2のように本体を台車に乗せて実験することが基本になります。計測範囲は

感度 $-20 \sim +20 \text{ m/s}^2$

後者の場合の精度はおよそ 0.05 m/s^2 です。向きは加速度計の正の向きと座標の向きを一致させると、逆向きならマイナスの振れとして表示されます。なお鉛直方向などで計測する場合は本体をその方向にして静止させ、ゼ

